

令和7年度 第3回 伎倍小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年11月12日（水） 14時から16時まで
- 2 開催場所 伎倍小学校 会議室
- 3 出席委員 木俣保広、飯田勤、日置芳美、松嶋のぶこ、小畑淑子、木俣愛佳
牧野絵里子
- 4 欠席委員 鈴木健太郎、竹内真哉、江刺香織
- 5 学 校 高木理恵（校長）、村田昌士（教頭）、常名瑞穂（教務）
瀧尾恵一（CSディレクター）
花井（1年主任）、佐々木（2年主任）、猿田（3年主任）、鈴木（4年主任）、
野末（5年主任）、梶村（6年主任）、木下（発達主任）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 瀧尾恵一
- 8 議長の選出
木俣会長から、議長について、木俣愛佳委員を推挙する旨の発言があり、同時に本人も本日の議長を務めることを申し出て、全員異議なくこれを承認した。
- 9 協議事項
(1) 授業参観の様子から・・・グランドデザインに照らし合わせて
(2) 各学年の実践内容の紹介
(3) 学校の課題と支援について・・・学校応援隊 進捗状況
- 10 会議記録
司会の教頭から、10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
(1) 授業参観の様子から・・・グランドデザインに照らし合わせて
○子供たちが元気だった。発達支援学級では、道徳の時間を見たが、真剣に先生の質問に答えていた。1年生は、幼稚園の遊びを生かしながら教育されていると感じた。2年生になると、端末を使っていて、1年間の積み重ねが表れていた。（木俣会長）
○6年生の発表会の練習を見て、児童がまとまるすごさを感じた。最後の先生の指導にも感心した。他のクラスではグループ活動をしていたが、隣のグループが近かった。グループで話す時に熱中するような環境ができるとよい。また、グループの意見をまとめるには、リーダーや方法を工夫するとよいと思った。（日置委員）
○4年生の教室を見学した。児童が大きな声で挨拶をしてくれた。1年生が、生活科で作ったおもちゃを使って楽しく学習していた。2年生も静かに話を聞いていた。4組と5組もタブレットで一生懸命勉強していたので感心した。（小畑委員）
○グランドデザインに基づいて、先生方がそれぞれの子に合った目標を立ててくれている。それを達成することで子供たちの自己肯定感も上がるし、目標を達成したことに対しては、「良かったね。頑張ったね。じゃ、次はこうしてみようね」という話を家でする。ただ、目標設定の時に、もう一歩先の目標に向けて頑張ってくれたら新しいものが見えてくると思うときもある。自分の限界がまだ上にあるということを、子供に伝えられるとよい。（牧野委員）
○体育館から演奏が聞こえてきた。選曲もすごいし、レベルが高い。また、4年生の教室前に、自主学習の内容が貼ってあったが、しっかりと意見が書かれていた。タブレットも良いが、自分で書いて、文字で表現することも大事なことだと思った。1年生の我が子はタブレット

にすごく興味があるが、宿題もバランスよくやらせていきたい。(木俣愛佳委員)

○体育館で合唱と寸劇をしていた。楽しくやることも大事だと思った。今度の発表会は良いものになるのではないかと思った。(飯田委員)

(2) 各学年の実践内容の紹介

①実践内容の紹介

1年：1年のテーマは「秘密」。「ひ」は「人の話を聞く」。「み」は「みんなと仲良くする」。

「つ」は「続ける(運動など)」。1年生は初めての小学校生活なので学習に対する習慣を身に付けたい。基本である聞く・話すについて指導している。ペアやグループ学習も取り入れている。また、みんなと仲良くできるように、学級・学年だけでなく、2年生、6年生を中心に交流している。子供たちにとってペアの6年生は本当に支えになっている。粘り強く学ばせたいが学力、体力、精神力に差があり、気持ちを保つことが苦手な子供がいる。子供に応じて家庭と連携をしながら進めている。今後は2年生に向けて、足りないところを指導していきたい。

2年：2年のテーマは「スマイル」。どんな時も相手を思いやる心を持ち、どの子も笑顔になれることを目指して取り組んでいる。具体的には、友達の考えを聞き、自分の考えを持つことができるようにするために、話を最後まで聞くことに取り組んでいる。友達と活動する場を設定することにより、子供たち自身の中で次の目標が芽生えてくることを目指している。また、友達を大切にすることに取り組んでいる。学級での関わりや1年生との交流を通して、友達を思いやり、自分自身がどう行動することが最善かをいつも考え行動することを目的としている。さらに、目的を持ち最後までやりきることを大切にしている。校外学習では、目的を持ち思いやりのある活動に取り組むことができた。多数の保護者の方のご協力があり、子供たちの活動をサポートしていただいた。当たり前のことに真摯に取り組む姿勢を大切にし、3年生に向けての準備に取り組んでいく。

3年：3年生の学年目標は「チャレンジ」。自分の目標に向かって挑戦することを大切にしている。また、伝え合い、学びの振り返り、グループ活動を通して、互いの意見を認め合う姿が見られるように取り組んでいる。道徳や日々の生活の中でも友達の良いところを見つける活動を行っている。さらに、子供たちがやってみたいことを大切にしている。今年度は、地域の方に来ていただいて練りをしたり、それぞれの祭りの特色について教えていただいたりした。子供たちは地域学習を通して新たなことをするとともに、新しい自分の役割を見つける機会になったのではないかと感じている。

4年：4年生の学年目標は「カラフル」。一人一人の個性を生かして、自分のことも大事にしながら過ごしていこうと呼び掛けている。学習では、自分たちで見通しを持って考えながら学ぶことを意識している。発表会に向けてもグループで相談しながら発表の内容を決めたり、準備をしたりしている。どんな練習が必要かを子供たちが考え発表に向かって頑張っている。また、仲よくなりたいと願い、各クラスで企画をしている。自分たちで判断したり、思いやりを持って相手の気持ちを考えながら活動したりすることができている。3年生を呼び、他の学年とも交流を深めることができた。

5年：5年生の学年目標は「積木」。学年全員で話し合って決めた。やるべきことを、前向きに、確実にやることを大切にしている。また、自分の思いや考えは、正しい適切な言葉で正しく伝えようと言っている。さらに、ふさわしい行動を考え実行するように指導している。発表会は実行委員が中心に進めている。教師の出番と子供に考えさせるところを迷うが、自分たちの力でやろうという気持ちが伸びてきた。

6年：学年目標は「PRIDE」。最上級生として、全てにおいてプライドを持って取り組むことを目標に掲げている。半年たって学級、学年、学校にとって何が最善なのかを意識して活動することができるようになった。学習でも主体的に取り組む姿勢が見られ、頼もしくなっている。また、デジタル機器も効果的に活用することができるようになってきた。委員会活動、行事の実行委員でもタブレットを使用して話し合い、活動したり、記録をまとめたりできるようになってきた。リーダーとしての自覚や進学に向けた意識も高まっている。反面、モラル面などまだ足りない面もあるので、今後卒業に向けて、さらに意識を高めていきたい。

発達：4組は「けやき」という目標。はじめ、やり抜く、協力の頭文字を取っている。5組は「MT（真面目に楽しく）」。どちらのクラスも学習や自立活動を通して、話を最後まで聞くことを重点にしてきた。ただ、自立活動の中ではできているが他につなげていけないのが課題である。また、相手の気持ちを考えることができるようになってほしいと思っている。さらに、大きな集団で活動することが苦手な子供が多いので、その子が今できることは何かを保護者と話し合いながら目標を立てて励ましている。

②実践内容についての熟議

○かつては読んで書くという授業だった。PCを使うと書く機会が必ず減るが、そこをどうフォローしているのか。（木俣会長）

○書く機会は以前より減った。しかし、小テストを行ったり、書く機会を確保したりしている。書く量は確保したいと考えている。（佐々木）

○うちの中学生の子はタブレットを中心にした授業だと分かりづらいと言う。自分にどんな勉強方法が合うのかということや小学生のうちに分かっていると、進学した時にすごく勉強しやすくなると思う。（松嶋委員）

○タブレットに慣れることで選択肢ができる。1年生から使い方を覚えていって、6年生になった時によい選択ができるようになってほしい。本校はLDX協力校。デジタルとアナログの良さを生かして、学び方を学んでほしい。学校でも試行錯誤しているので、気づいたことは教えていただきたい。（野末）

○今、辞書は必要ないのか。辞書で調べると、いろいろ出てくる。タブレットで調べるだけだと、そこから発展する部分がない。（日置委員）

○手書きは無くならないと思っている。低学年は、指を動かすことで脳も発達する。発達段階に応じて使っていくということが大切である。今の子供は、いきなりデジタルになる。そこで、アナログの良さや意味を伝えていかなければいけない。ただ、デジタルの進みがものすごく速い。ゆっくりやりたくても進んでいく。（校長）

○タブレットに任せればよいは怖い。操作するのは人間。そこを分かって活用してほしい。（日置委員）

○自分で学びをつくっていく、それがいま求められている学力。そこを目指しているが、道半ばなので考えていきたい。（校長）

○先は未知。でも忘れてはいけないのは各教科の基礎基本。基礎基本が身に付かないと学び方を学べない。基礎基本を忘れずに指導をお願いしたい。（飯田委員）

○グループ学習は、どのようにグループを組んでいるのか。まとめる子、記録する子はいつも同じなのか。（日置委員）

○学年や課題によって違う。近くの席、同じ考えの人同士など、様々なやり方がある。また、役割は多くの子に経験をさせている。（猿田）

(3) 学校の課題と支援について

- 半期の合計。活動回数は69回で、(延べ)人数が243人。登録者は255名いて、今年度は17名が新規に登録。来年度に向けて、広報を進めていこうと思っている。
- 今後の大きな課題は草刈りボランティア。募集を行なったが、集まらなかった。募集の仕方や実施自体のやり方を考えなければいけない。
- もう一つの課題は、コーディネーターの交代。長年運営を支えてくださった竹内さんが交代してはどうかと言っている。運営自体は牧野・木俣でできるようになってきたが、地域の方とのつながりや今までの経験値として竹内さんに抜けられるのは不安。
- 前回、熟議した防犯対策について、学校に防犯用のたすきなどがたくさん余っていたので、その活用を進めていこうと思う。

12 連絡

- (1) 学校評価の評価項目について
- (2) 学校運営協議会の自己評価について
- (3) 来年度の委員について

○来年度、2期6年目を迎える方は後任の方を探してほしい。

- (4) 中学校の部活動の地域移行について
- (5) 教育講演会について